

鉄人28号

構成・文：(株)ブレインナビ ^{ほらだ}原田 ^{じゅん}淳



2005年3月全国ロードショー 公式HP：<http://www.tetsujin28.jp/>
 制作：電通、キングレコード、メディアウェイブ、衛星劇場、テレビ朝日、ジェネオン エンタテインメント、GENEON ENTERTAINMENT USA、クロスメディア 配給：松竹
 STAFF：原作＝横山光輝／企画＝遠谷信幸、大月俊倫／監督＝富樫森／視覚効果＝松本肇／脚本＝斉藤ひろし、山田耕大／音楽＝千住明
 CAST：金田正太郎＝池松壮亮／立花真美＝蒼井優／宅見零児＝香川照之／貴島 レイラ・ニールソン＝川原亜矢子／金田陽子＝薬師丸ひろ子（友情出演）／江島香奈＝中澤裕子／村雨研二＝高岡蒼佑／田浦慶太郎＝伊武雅刀／大塚雄之助＝柄本明／綾部達蔵＝中村嘉律雄

昭和から蘇りし鉄人が、平成の世で吼える！



全長18メートルある鉄人の、巨大な頭部を見つめる正太郎少年。



「鉄人と言ったら、やっぱりこのポーズ！」という人も多いのでは？ もちろん、実写版でも健在。



鉄人に次いで人気の高いブラックオックスが、今回敵役のロボットとして登場し、東京を破壊し尽くす。

新世紀に描かれる新たな鉄人の物語

現代の東京で、サイバテロが発生した。さらに、破壊ロボット“ブラックオックス”が飛来し、街を破壊し始める。そんな中、母と二人で暮している小学生・金田正太郎は、見知らぬ老人・綾部から、亡き父・正一郎が遺したという巨大ロボット“鉄人28号”の存在を知らされる。突然鉄人のリモコンを託され、戸惑う正太郎。しかし、都心で猛威を振るい続けるブラックオックスを止めるため、正太郎は勇気を振りしぼり立ち上がる！ 父の遺志と母の愛を背負い、正太郎と鉄人はブラックオックスとの戦いに臨む!!

1956年、今からおよそ50年ほど前に、月刊誌「少年」で連載が開始された漫画『鉄人28号』は、巨大ロボット漫画の原点ともい

れ、いまだに熱狂的なファンを持つ。その、故横山光輝の代表作である空想科学大活劇の傑作が、CG技術を駆使することにより、劇場版としては初となる実写化で復活！ リアルな鉄人28号がスクリーンに蘇る！

操縦桿によって操作されるという、昭和30年代の雰囲気が漂う古風な鉄人28号と、現代のハイテク機器を多数搭載したブラックオックス。まるで「昭和対平成」というような構図からは、止まることなく発展し続ける現代文明に対する警鐘も伺える。今作は、ロボット系映画の最新作であり、文明の行く末を見据え、同時に少年の成長物語を見事に描いた、特撮映画という枠を超えたエンターテインメント超大作である。



CGによって完全に再現された鉄人。操縦桿で操作されるという設定上、今回はちょっとごこちのない動きをするように演出されている。

黒いボディに映る風景まで完璧に再現されているCGのブラックオックス。ハイテク機器であるオックスは、鉄人よりも滑らかな動きをする。